中山道
日光街道・奥州街道
甲州街道
日本橋
東海道
東京湾
中山道

東京国道事務所
東京の安心を作り、元気を支えます
東京国道　検索
http://www.ktr.mlit.go.jp/toukoku/

国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所
〒102-8340　東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎 15・16階
TEL.03-3512-9090　FAX.03-3512-9889
【最寄り駅】東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅（6番出口）から徒歩約5分です。

この地図は、東京都知事の承認を受けて、
東京都縮尺2,500分の1の地形図(平成16年度)を
使用して作成したものである。
（承認番号）19都市基交　第412号

この地形図は、東京都都市整備局および
東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を
使用して作成したものである。
（承認番号：19東デ共第 022号）

埼玉県戸田市
北区
板橋区
豊島区
荒川
新河岸川
浮間舟渡駅
十条駅
板橋駅
戸田橋
志村坂上
志村三丁目
本蓮沼
板橋本町
板橋区役所前
新板橋
下板橋
旧中山道
旧川越街道
川越街道
首都高速5号池袋線
平尾追分（旧川越街道の分岐点）
16.0km
15.5km
15.0km
14.5km
14.0km
13.0km
12.5km
12.0km
11.5km
11.0km
10.5km
10.0km
9.0km
⑱薬師の泉庭園
⑰富士・大山道の道標と庚申塔
⑯志村一里塚
⑮縁切榎
⑭板橋
⑬本陣・脇本陣跡碑
⑫近藤勇の墓
0
500
1000m

🟪	国道	─□─	JR線	◉	区役所	✚	一般病院・医院
═	その他の道路	─□─	私鉄線	㊫	学校	✚	東京災害拠点病院
🟦	首都高速	┅▬┅	地下鉄線	〒	郵便局	✚	救急指定病院
🟧	旧中山道	─<·>─	都・県境界	⊗	警察	▨	広域避難場所
●●●●●●●	旧街道ルート	─·─	区境	Y	消防署	△	帰宅困難者支援施設
▶ 0.0km	日本橋からの距離	🟩	公園・緑地	ŏ	官公署	💧	給水所／応急給水槽
				Ⓒ	コンビニ	卍	寺院
				Ⓗ	ホテル	⛩	神社
						🚻	トイレ
						♨	銭湯

⑱ 薬師の泉庭園（総泉寺）

8代将軍吉宗がこの周辺で鷹狩りをした際、大善寺境内に湧く清水を賞賛し、本尊である薬師如来を「清水薬師」と名づけたという。「境内山の腰より清泉沸出」と『江戸名所図会』にも描かれ、中山道の旅人の休み所であった。昭和初期、浅草寺にあった総泉寺が移り、大善寺と併合となったが、戦中戦後の混乱の中、大善寺は荒廃した。のちに板橋区が大善寺の庭園図をもとに整備し、「薬師の泉庭園」として開放した。

⑭ 板橋

石神井川にかかる橋。板橋の名称は平安時代末期には既に使われていた。粗末な丸木橋が普通だった当時、珍しい板の橋だったことが地名の由来。江戸時代は太鼓橋で、長谷川雪旦「江戸名所図会」にも描かれた。この橋より北の上宿、南の中宿、平尾宿の3宿を総称して板橋宿と呼ばれた。橋のたもとには高札場があった。現在は木製を模したコンクリート製となっている。

⑬ 本陣・脇本陣跡碑

寛永12年（1635）に参勤交代制および2年後に本陣制が定められ、大名などと庶民の宿泊施設が区別されるようになった。本陣は、参勤交代の大名や格式の高い人などの宿。脇本陣は、本陣の予備的役割を果たす宿のことである。板橋宿は中山道の第一宿であった。平尾宿・中宿・上宿からなり、本陣2軒、脇本陣3軒、旅籠屋54軒があったという。

⑰ 富士・大山道の道標と庚申塔

中山道では富士山は左側に見える。右側に富士山が見えるのはここだけだった。今は庚申塔と道標がある。庚申塔は道標も兼ねており「是より富士大山道」とあり、その下に「練馬江一里、柳沢江四里、府中江七里」とある。万延元年（1860）に建てられたものである。

⑯ 志村一里塚

街道には日本橋から始まり、一里（約4km）ごとに一里塚が立てられた。志村一里塚は日本橋から三里目に設けられた一里塚のことであり、江戸初期、主要街道の整備に伴い築造された。石垣で補強されたのは昭和初期のこと。地下鉄三田線志村坂上駅の本蓮沼側の階段を上がったところにある。

⑮ 縁切榎

江戸時代、ここに大きな榎が生い繁っていた。やがて、榎の下を嫁入りの行列が通ると不縁になると敬遠され、「縁切榎」と呼ばれて、街道の名所となったという。「榎（えのき）は縁の木なれば、あながちに縁を断つことのみならず、善縁をむすび悪縁を断つことこそ神の御心……」と「縁切榎の碑」に刻まれている。

⑫ 近藤勇の墓

新撰組隊長近藤勇の供養碑である。近藤勇は鳥羽伏見の戦いに敗れて、江戸に戻ってもなお官軍と戦ったが、流山（千葉県）で捕らえられ板橋宿に護送された。そして明治元年（1868）4月25日、付近の板橋刑場で処刑される。35歳であった。命日である4月25日には、毎年慰霊祭が行われている。

中山道

日本橋 ▶ 巣鴨 ▶ 板橋 ▶ 志村 ▶ 戸田橋（荒川）

東京国道
マップ

災害時に役立つ、防災拠点情報が入ってます。ぜひ、活用下さい。

国道
その他の道路
首都高速
旧中山道
旧街道ルート
0.0km 日本橋からの距離
JR線
私鉄線
地下鉄線
都·県境界
区境
公園·緑地
区役所
学校
郵便局
警察
消防署
官公署
コンビニ
ホテル
一般病院·医院
東京災害拠点病院
救急指定病院
広域避難場所
帰宅困難者支援施設
給水所／応急給水槽
寺院
神社
トイレ
銭湯
板橋区
北区
豊島区
文京区
千代田区
中央区
板橋駅
巣鴨駅
大塚駅
千石
白山
本郷三丁目
御茶ノ水駅
神田駅
秋葉原駅
水道橋駅
飯田橋駅
東京駅
日本橋
❶ 日本橋
❷ 日本銀行本館（金座跡）
❸ 神田明神
❹ 湯島聖堂
❺ 東大赤門と三四郎池
❻ 白山神社
❼ 東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）
❽ 六義園
❾ 高岩寺（とげぬき地蔵）
❿ 染井霊園
⓫ 滝野川の種屋
近藤勇の墓
旧中山道
1.0km
2.0km
3.0km
4.0km
5.0km
6.0km
6.5km
7.0km
7.6km
8.0km
9.0km
0
500
1000m

① 日本橋

慶長8年（1603）江戸開幕の年に架橋。翌年、日本橋は五街道の起点と定められた。今日でも主要な国道はここを基点として測定されている。路面中央には日本国道路元標が埋め込まれ、その複製は北西橋詰広場に設置されている。

② 日本銀行本館（金座跡）

文禄4年（1595）、家康がこの地で小判の鋳造・管理を始めたのが始まりといわれる。当時は「金座（きんざ）」と呼ばれていた。やがて日本銀行は、日本の中央銀行として明治15年（1882）創業。同29年、現在地において、ネオバロック様式の建物として竣工された。設計は明治建築界の巨匠・辰野金吾で、明治期の貴重な西洋式建築物として国の重要文化財に指定されている。

③ 神田明神

平将門を祀る歴史ある神社で、神田明神の名で親しまれている。天平2年（730）創建。当初は皇居近くにあったが、元和2年（1616）、神田の北へ移った。高台のため眺望が良く、月見や納涼の場所であったという。毎年5月に行われる神田祭は天下祭とも呼ばれ、その名を知られている。境内には銭形平次の碑、小唄塚などもある。

④ 湯島聖堂

元禄3年（1690）5代将軍綱吉によって建てられた。もとは寛永9年（1632）、幕府の政治顧問・林羅山が上野忍岡に建てた孔子廟を移築したもの。羅山の私塾的性格のものであったが、やがて幕府直轄の学問所としての役割を持つようになった。

⑤ 東大赤門と三四郎池

東京大学の敷地は、加賀藩前田家の上屋敷跡である。赤門は、11代将軍家斉（いえなり）の娘・溶姫（やすひめ）が、前田家に輿入れする際に造られた、格式を重んじた門。赤門は通称であり、正しくは御守殿門といわれる。国の重要文化財となっている。敷地内にある三四郎池は、前田家の庭園「育徳園」の園池が原形である。夏目漱石の小説『三四郎』によって、三四郎池の名のほうが一般的になった。

⑥ 白山神社

天暦2年（948）、加賀一の宮（石川県）白山神社を勧請したのが始まりといわれる。祭神の菊理姫命（くくりひめのみこと）は縁結びの神として崇められている。6月には、社殿裏の築山に紫陽花（あじさい）が咲き乱れる。

⑦ 東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）

5代将軍綱吉が幼少の頃、この地に白山御殿と呼ばれる別邸を与えられたのが始まり。貞享元年（1684）、高田御薬園が白山御殿内に移転され、やがてその大部分が御薬園となり、小石川養生所も造られるようになった。明治4年（1871）に文部省、明治10年に東京大学附属植物園となり、現在に続いている。植物は野生種中心に栽培されており、古木などの樹木が多い。樹木には名称の札がつけてあり、初心者にもわかりやすい。

⑧ 六義園

元禄8年（1695）、柳沢吉保が、5代将軍綱吉から拝領した地に下屋敷を置き、そこに庭園を造った。御殿を六義館、庭園を六義園と称した。中国の『詩経』にある六義（りくぎ）から名づけられている。回遊式築山泉水庭園で、元禄時代のおおらかな気風を反映した江戸大名庭園の代表的なものだ。

⑨ 高岩寺（とげぬき地蔵）

明治24年（1891）、「とげぬき地蔵」高岩寺が上野からこの地に移ってきた。以来、中山道の道筋は参詣客でにぎわい、門前町となった。“おばあちゃんの原宿”の異名通り、参道沿いには八目鰻や金太郎飴のほか、健康食品やメリヤスの肌着などの高齢者向け商品が並んでいる。「とげぬき」は、外からのとげだけでなく、人間の持つ罪科（とが）も抜く地蔵尊として信仰されている。写真にあるのは洗い観音像。

⑩ 染井霊園

江戸中期以降、染井（現在の豊島区駒込）には植木職人が多く、さしずめ「江戸の園芸センター」という雰囲気であった。ソメイヨシノ（染井吉野）のルーツもこの辺りである。江戸末期から明治期、染井の植木屋が吉野桜の名で全国に売り出し、のちに染井吉野と名づけたという。

⑪ 滝野川の種屋

旧中山道沿いに今も残る種屋である。この辺りは良質のタネがとれたため、街道を往来する人々に商いをする大小の種屋が軒をつらね「種屋街道」と呼ばれるまでになった。ニンジン、大根、ゴボウなどの評判が高く、なかでもニンジンは滝野川人参と呼ばれ、もてはやされた。